

花たより

第116号 春季刊



題字／木下 ちづ子様
フェローホームズ デイサービスセンター
2025年(令和7年) 5月10日発行

発行 社会福祉法人 恵比寿会
フェローホームズ Fellow Homes

仲間の家・森の家・高松の家
フェローホームズデイサービスセンター
フェローホームズヘルプサービス
グループホーム・ヴィラ・フェローホームズ
フェローホームズアフタースクール
森の子ナーサリー(企業主導型保育園)
042-523-7601
フェローホームズ富士見相談センター
042-526-1353
羽衣地域福祉サービスセンター
フェローホームズ羽衣相談センター
立川市南部東はごろも地域包括支援センター
042-523-5612
森の子子ども園 042-538-0729
しばさきのいえ子育てひろば 042-512-7704
立川市柏第四学童保育所 042-537-8555
立川市高松第三学童保育所 042-512-9703
立川市砂川七番学童保育所 042-537-7550
立川市柴崎第二学童保育所 042-512-8202

2025年度

スタートにあたって

2025年度がスタートいたしました。年度が始まっていきなりのトランプ大統領の関税問題で世界の不確実性が増加しています。

恵比寿会が事業展開している立川市では、総人口は現在小幅な減少に留まりますが、64歳までの人口(生産人口)が減少し、65歳以上の人口が増加により、少子化、高齢化が進展する予測になっています。高齢者1人を約2.6人の生産年齢人口で支えて

いますが、2065年には、約1.4人で支えることとなります。

当法人は1991年(平成3年)に設立し、35年目を迎えます。1992年に特別養護老人ホーム事業を開始してから高齢者事業だけではなく、認定こども園、学童保育所を運営し、乳児から高齢者まで支援しています。地域ニーズに応じたよりしなやかな事業運営をこれからも目指していきます。

自然が多くあり生活の利便さを兼ね備えた魅力ある立川市を一番理解しているチームを目指し、地域になくはならない法

人として恵比寿会ならではの個性のあるサービスの展開を考えています。

昨年は「フェローホームズ仲間の家」では四人部屋を個室化し、ICT環境の充実をはかっています。今年も10年ぶりに2回目の大規模修繕を実施して快適な環境を維持し、より長く施設を使っていくことを目指しています。「幼保連携認定こども園 森の子子ども園」では、増築棟が完成、既存棟は改装し全ての教室に床暖房を設置しました。幼児のクラスは一人当たりの教室面積を標準施設の1.5倍の

環境を整備して本物の保育教育を提供しようとしています。

これからの時代はチームでなければ乗り切っていくことはできません。

多種多様な経験や国籍を持った人材の採用と人間性を豊かに育む人材育成を行い、組織内の好循環を促していきたいと考えています。そのために「ひとつはすべてのために すべてはひとつのために」の理念のもと、スタッフそれぞれが明るく謙虚に、自ら提供するサービスに誇りをもって、毎日笑顔でワクワク感をもって過ごしてくれることが大切です。サービスを受けとっていただく方の笑顔、地域の方々との交流、新しいテクノロジーへのチャレンジなど、これから待ち構える社会構造の改革による嵐を乗り越え一隅を照らすチームとして挑戦していきます。

2025年4月

理事長 森山善弘

1年間の
取り組みの集大成!!!

1月29日、30日に恵比寿会の計7事業所8事例の発表会を「フェロー宴」と銘打ち開催しました。

この「フェロー宴」は「事業を越えた法人全体のスタッフ間の交流の機会を創出したい！」

「自事業での、サービス向上や業務効率化にむけた取り組みを発表する場を設けたい！」

「顔の見える交流の時間を共有することで、お互いの成果や効果を認め合い励ましあう機会を作りたい！」

との願いから当法人の広報委員会メンバーが企画、立案しコロナ禍前に親睦を兼ねて行っていたミニ事例報告会をモデルとしています。

各事業所の代表者が発表した事例を当日の参加スタッフと後日録画視聴したスタッフ

による投票方式で順位付けも実施。その結果2位と大差をつけて1位を獲得したフェローホームズ高松の家の事例をご紹介します。



当日の会場の様子



近日中に玄関に掲示予定です

「フェローホームズ高松の家
の発表事例」

フェローホームズ高松の家からは《見守り支援機器導入によるご入居者の生活の質向上、夜勤業務の負担軽減、生活リズムを把握し、その人らしい生活の可視化とスタッフのやりがいにつながる》と題して事例発表をいたしました。

フェローホームズ森の家とフェローホームズ高松の家では昨年度から「眠りスキャン」、**「眠りスキャンeye」**という見守り支援機器を導入しました。

眠りスキャンをはじめとする見守り支援機器は有効に活用することでご入居者の睡眠の状況や健康状態を把握することが可能になります。巡視をはじめとする業務の見直しを行い、覚醒したタイミニングでの介入を図り、睡眠を妨げることなく、スタッフの負担軽減にも繋げることが出来ま

す。また導入したセンサーを適切に使用することによって転倒等の事故を未然に防ぎます。ご入居者に安心して施設での生活を送っていただけることを目指し、生産性向上を推進しつつ、ケアの質を確保しサービスの向上を図ることを導入の目的としています。

「眠りスキャンについて」

眠りスキャンとは体動（寝返り、呼吸、脈拍など）を検出して、睡眠状態を判定する非装着・非侵襲型のセンサーです。マットレスや敷布団の下に敷いて電源を入れるだけで使用でき、身体に何も装着しないので、ご入居者に機器の存在を感じさせずに自然な睡眠を計測できます。計測したデータは専用のViewe rアプリでリアルタイムに閲覧できるので、ご入居者の状態に合わせたケア・見守りに利用できます。

「眠りスキャンeyeについて」
 眠りスキャン eye（カメラ）と眠りスキャンの連携をおこなうことで、居室の様子を任意のタイミングで確認することができます。また、眠りスキャンの通知に加えて、ご入居者の様子を眠りスキャン専用ソフトウェア上に、映像で確認することができます。万が一、転倒などのアクシデントが発生した場合に映像を確認することで、より現状に則した再発防止策を講じるヒントとすることが可能です。

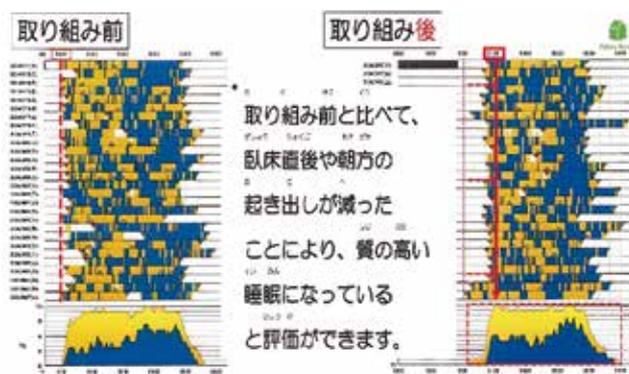


眠りスキャンのイメージ図

「実際の活用例」
 フェローホームズ高松の家のあるご入居者で特に夜間の起き出しが多くみられ、ベッドからの滑落や転倒を繰り返してしまわれている方がいました。その方の夜間の睡眠状態を「眠りスキャン」を活用して客観的なデータで分析を行いました。その結果それまでの就寝時間がそのご入居者には早過ぎたのではないかと仮説をたて、本来眠たくなると思われる時間まではリビ



眠りスキャンeyeのイメージ図



「眠りスキャン」の睡眠レポートでの比較
 (青色が睡眠状態、黄色が覚醒状態を示しています)

ングで過ごしていただくように就寝ケアを変更しました。ケアの変更前後の結果が左にある通りです。（フェローマンション資料より一部抜粋）

今回の事例は、「眠りスキャン」を活用してケア変更をおこない、ご入居者が穏やかに眠れる時間をつくることができました。

ケアの考え方などに見守り

支援機器が活用できることを再認識した事例でした。これから見守り支援機器導入の目的に沿って、ケアの質を確保しサービスの向上を図り、ご入居者の皆様のニーズを満たすために何ができるのかを模索していきます。



とあるお祝い事の日

とにかく美味しい
食事を目指して

今年度の栄養科の目標は、とにかく『美味しい食事』を提供していくことです。昨年度より、仲間の家の厨房を再稼働し、デイサービスの利用者の特養のご利用者のお食事を別献立で提供する取り組みをしてきました。とにかく美味しく、楽しんでいただける食事を目指し、調理工程も献立も使用する食材も見直し、一品一品を大切にしてみました。当初、厳しいお声をいただいていた感想が徐々に和らぎ、食事が美味しい、という声が多く届くようになりました。美味しいは人を笑顔にする魔法…と、担当調理師が言っていました。それは現実のこと、食事の美味しさがその時を豊かにしてくれるものであると感じると共に、そ



年越しそばメニュー

の責任の重大さも実感していただきます。普段のお食事、味をしつかり整えて、ほっと小さな幸せを感じていただける栄養科であり続けたいと、日々奮闘しています。

今年度はさらにパワーアップした栄養科を目指し、改めて美味しいを追求していく取り組みをしています。また、行事食も昨年より再開し、華やかなごちそうの日を設けています。集団給食では提供できるものに限りありますが、華やかさと美味しさを兼ね揃えられるように、努力してい

きます。

昨年度デイサービスの行事食ではお寿司を提供しました。お寿司屋さんからの出前ではなく自家製です。ご利用者の前で握るパフォーマンスは喜ばれました。誰が作っているのかを見ていただきながら提供することも大切であると実感しました。やはりお寿司は好きな方が多いので、今年度も実施したいと考えています。



お寿司ランチ

また、お食事から、季節を感じていただくことも大切なこととして、食材選び、献立



クリスマスランチ

- ★海老ピラフ・パプリカサラダ
 - ★ハンバーグホワイトソース
 - ★白身フライグリーンソース
 - ★クリスマスゼリー
- クリスマスカラーランチです。

作り等、入念に検討しています。日本の文化を感じていただくだけでなく、また、クリスマスやハロウィン・バレンタインといった、外国のイベントの時もお食事を豪華にさせていただきました。特養のお食事は安全にお召し上がりいただくことを大前提で提供してきました。もちろん、安全性はそのままに、食材の良さを生かし、そしてとても美味しい、そんな食事を日々提供できるように、今年度から新たなチャレンジ



花見御膳

をしています。煮物はしつとりと、炒め物は香ばしく、でも、お肉は柔らかく、そんなお食事を目指して工夫を凝らしています。具体的には、これまででは真空調理法が多かったメニューをクックチル調理法に切り替えて提供しています。食材を崩さない事、それも『美味しさ』の要素です。行事食もグレードアップを目指し、美しく提供できるように努めています。



4月より、森の家・高松の家・グループホームの朝食を仲間の家と同じ玄米雑炊・野菜スープ・ヨーグルトの3品でのご用意を開始しました。朝、身体を労りつつも活動し易くする、そんな朝食として取り入れています。食事は身体も心も整えるものとして、ご利用者の生活に寄り添える栄養科であるため、今後も工夫を重ねていきます。

〈250回〉 開催を超えて

フェローホームズ

羽衣相談センター

2004年から始まった「認知症高齢者を抱える家族の集い」は昨年2024年の8月で250回の開催を迎えました。

コロナ禍を経て、参加が危ぶまれる時期もありましたが、感染症対策を行いつつ、少数での開催を続けてきました。

「認知症高齢者を抱える家族の集い」では、今現在、自宅にて認知症支援をされている方や過去に支援をされていた家族の方が集まって、お茶やお菓子をつまみながら、悩みや不安を話しあう場となっています。

「認知症だとはわかっていても、ついイライラして辛くあたってしまう。」「大事な物

を何回も無くしてしまい困っている。」等、家族や友人に話しにくい話だけど、誰かに話したい！といった事はありませんか？同じ経験をされた方の前で、気兼ねなく思いを吐き出せる機会となっています。今まで参加した事がない方や当日参加の方も、大歓迎です。ぜひ、ご参加ください。今後、300回、400回と



会が続く、地域の集いの場となればと思っております。

＜認知症高齢者サポートセンター＞

認知症高齢者を抱える家族の集い

皆様いかがお過ごしでしょうか？この集まりには、介護中の方、介護疲れられた方々にご参加を願っています。お悩みが解消しやすくなります。お気軽にお参加ください。お申し込みは不要です。お問い合わせは、認知症対策を推進した地域を挙げてまいります。ご参加をお待ちいたします。

【日時】 令和7年
3月21日(金)
4月18日(金)
5月16日(金)
6月20日(金)
7月11日(金)

開催時間：10:00～11:00
(家族型に応じて11:30まで延長予定です)

【会場】
認知症高齢者サポートセンター2階
立川市羽衣センター
羽衣ワークセンター学習室
立川市羽衣1-12-18

フェローホームズ羽衣相談センター 042-523-5612
【参加ご希望の方はご連絡をお待ちしております】

恵比寿会の春のニュース

3月17日 恵比寿会後援会寄贈品決定

本年は、デイサービスからの希望物品も加えて、車椅子3台・IHジャー炊飯器1台・コーヒーマーカー1台・ポータブル電源機1台をいただきました。2025年度は会員も後援会員も「増」を狙います。

ありがとうございます！



3月28日 アフタースクールお別れ遠足。

年度末の慌ただしい時期ですが、恒例の昭和記念公園へ遠足へ。朝懸念されていた雨もあがり、へとへとになるほど遊ぶことができました。

4月1日 入社式

2025年度4月の入職者は5名。内2名は、2年間介護福祉専門学校で学び、介護福祉士の資格を取得した、ミャンマーからの留学生です。



4月23日 仲間の家開設34周年。

ご利用者の皆さんとともに、乾杯のセレモニーを行いました。今年度は大規模修繕もあり、より生活しやすさを目指していきます。



しばさきのいえ 子育てひろば

春を迎え、しばさきのいえ子育てひろばも新たな親子が来所されています。

今年の1月から『子育てはじめましての会』をスタートいたしました。この会の目的は、ひろばへ行くきっかけづくりや、孤育てから地域につながる子育てを目指し、しばさきのいえの雰囲気を経験してもらうことにあります。

具体的にはしばさきのいえの様子やイベントの紹介、また日頃行っている手遊びやわらべうたを一緒に行います。そして今感じているちょっとした子育ての悩みを共有してもらおうことで、保護者同士の距離が近づくことを期待しています。多くの親子に気軽に足を運んでもらえると幸いです。

(文責 保育士 小泉陽子)



HPはこちら



森の子ナーサリー MORINOKO NURSERY

森の子ナーサリーは、社会福祉法人恵比寿会 of 施設内で働く保護者のお子さんや、地域の0〜2歳のお子さんをお預かりしています。

系列園の森の子ども園と同様、モンテッソーリ教育、自然体験活動、食育活動を取り入れ、日々の生活を大切に過ごしていきます。

森の子ナーサリーには、付属する園庭はありませんが、自然豊かな環境に恵まれており、お天気の良い日には、散歩や公園に出かけ、季節を感じながら、身体を動かし遊んでいます。小規模園ならではの良さを活かし、一人一人と向き合いながら、お子さん達の成長を楽しみに、丁寧な保育を目指し心がけてまいります。

(文責 保育士 三好純子)



HPはこちら





森の子こども園

MORINOKO KODOMOEN

「森の子こども園」

増築棟竣工

森の子こども園は「たいせつにしたい3つ活動」として、モンテッソーリ教育活動・自然体験活動・食育活動をあげています。そして、それらの活動を

「すべてほんもの」で満たしていきたいと考え運営をしています。

増築棟建設のきっかけとしては、モンテッソーリ教育活動の充実・拡充を図るとい

ことがありました。25人のたてわりクラス3クラスが、「整えられた環境」で活動をするために本来必要な保育室の面積の1.5倍を確保し、必要な教具をすべて配置できるようにしました。そして、この整えられた環境の中で子どもたちが主体的に活動をするために、教師が子どもを観察し、自主活動を援助する仕組みが構築され、更なる飛躍を遂げようとしています。

シヨンが実施されていきます。保育教諭たちは先生の子ども達のことを心から思いやる視線での観察や、アドバイスに共感し、たくさん刺激をいただいています。

のつてくださった日比野設計様、細かい要望に添えてくださった株式会社滝新の皆様、そして何よりも建築にまつわる騒音などでご迷惑をおかけした近隣の皆様にご心よりお礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

園長 森山貴子



国際モンテッソーリ教師トレーニングセンターの日本代表の3人で勇逸の3レベルトレーナーである三浦勢津子先生によるコンサルテー

また、前年度より、東京ソリー教師トレーニングセンターの日本代表の3人で勇逸の3レベルトレーナーである三浦勢津子先生によるコンサルテー



HUIS Montessori
Instagram
始めました。



MORINOKOKODOMOEN